

新型コロナウイルスの感染者を確認した鹿児島市が20日、感染者の行動歴に「薩摩川内市に1泊」とだけ記述し発表した。翌日から薩摩川内市では臆測が吹き荒れた。

インターネット上には、感染者と濃厚接触したとされる人の住所や勤務先が次々にあがる。住民同士のうわさ話も広まった。濃厚接触者の利用先として名指しされた宿泊施設もあった。

デマは隣接するいちき串木野市でも発生。たまたま休業した施設について「感染者が立ち寄ったため閉めた」といった誤情報が流れた。

事実は、詳しくは公開されていない。なのに、さまざまな情報が生み出され、一人歩きしていく。

嵐の中で

その渦中に立ち、怖さを感じた。

濃厚接触者は全員陰性だった。PCR検査の結果が出るまで、インターネットで誹謗中傷が大量に投稿された。その一部は今も消えずに残る。

24日の薩摩川内市議会全員協議会。感染者情報の徹底した開示を求める議員に、岩切秀雄市長も「プライバシーを守るのも大事だが、そのために市民が苦しむのはいかなものか」と語った。

暴力的な批判から感染者らを守るために、個人情報公表に慎重になるのは理解できる。一方で、情報が極端に少ないと、根拠のないうわさが広まる現実がある。感染者情報をどう取り扱うか。改めて考えてほしい。

— 2020・4・26(日) —

記者の目

嵐の中で

薩摩川内総局・荒川卓也

新型コロナウイルスの感染者を確認した鹿児島市が20日、感染者の行動歴に「薩摩川内市に1泊」とだけ記述し発表した。翌日から薩摩川内市では臆測が吹き荒れた。

インターネット上感染者と濃厚接触したとされる人の住所や勤務先が次々にあがる。住民同士のうわさ話も広まった。濃厚接触者の利用先として名指しされた宿泊施設もあった。

デマは隣接するいちき串木野市でも発生。たまたま休業した施設について「感染者が立ち寄ったため閉めた」といった誤情報が流れた。

事実は、詳しくは公開されていない。なのに、さまざまな情報が生み出され、一人歩きしていく。その渦中に立ち、怖さを感じた。

濃厚接触者は全員陰性だった。PCR検査の結果が出るまで、インターネットで誹謗中傷が大量に投稿された。その一部は今も消えずに残る。

24日の薩摩川内市議会全員協議会。感染者情報の徹底した開示を求める議員に、岩切秀雄市長も「プライバシーを守るのも大事だが、そのために市民が苦しむのはいかなものか」と語った。

暴力的な批判から感染者らを守るために、個人情報公表に慎重になるのは理解できる。一方で、情報が極端に少ないと、根拠のないうわさが広まる現実がある。感染者情報をどう取り扱うか。改めて考えてほしい。

令和2年4月26日(日) / 南日本新聞『記者の目』

※大小路から御陵下、川高裏、風口自治会館の近く、京セラ社員

ニシムタ上川内店、お寿司屋、焼き肉屋等のデマ情報が氾濫し、耳に入って来た。